

## TRINC、研究所と中央デモセンターを開所

株式会社TRINC

### 開発力強化と顧客への啓蒙活動の2本立て

異物・静電気対策機器の製造・販売及びコンサルティングを手掛ける(株)TRINCは8月1日、静岡県浜松市にTRINC研究所を開所。併せて、浜名湖デモセンターを同研究所内に移設・拡充、世界最高峰の異物・静電気対策機器専用ショールーム「TRINC中央デモセンター」として新たに開設した。

同社のデモセンターは現在、国内7カ所、海外13カ所の計20カ所(うち、建設中3カ所)ある。

開所の目的について、同社代表取締役社長・高柳眞氏は「TRINCの生命線である“良い製品”をつくるための開発スペース確保と、国際標準の異物・静電気対策機器への盲信に対する啓もう活動のため」と語る。

市場ニーズの要求に対応するためには1つ1つ開発していたのでは間に合わない。複数の開発を同時進行的に行っていく必要があり、そのためにはそれなりのスペースが不可欠だった(高柳氏)という。

研究所は、白い外壁と大きなガラス窓が特徴的な平屋建てで、総工費は5億円。敷地面積は1600坪で、建物面積は300坪。JR浜松駅から車で30分ほどの距離に建設されたもので、建物の周囲には人工の川とその上に配された檜の香り漂う木道、さらにその外側には様々な樹木が植樹されたビオトープを設けるなど、不良削減を通して環境保全に貢献するTRINCの



8月1日にオープンしたTRINCの研究所  
来年後半には敷地内に実験場も完成する予定

研究所らしいつくりとなっている。

これまでにない画期的な製品を次々に上市してきた発明家で技術者でもある高柳氏は「変わることのない自然の“原理”と、人間が常識で作上げた“現実”の間にあるギャップを埋めるのが“発明”とした上で、“発明”するためには常に“原理”に立ち返る必要があり、そうした考えから自ずと自然を好むようになりビオトープをつくった」と説明。研究所を訪れたお客様のリフレッシュの場にもなっている。ちなみに、このビオトープには研究所の建設費以上の経費がかかっているとのこと。



ビオトープ外観

## 8か月間不具合ゼロの 高い信頼性と効果を体感！

研究所は開発及び営業企画の部署の他、中央デモセンター、50名収容可能なセミナールーム等で構成。本社には営業部と生産管理、品質管理といったマネジメント関係の部署がある。

中でも注目すべきは、異物・静電気対策の最前線を体感できる「中央デモセンター」だ。派生機種も含めると300機種以上あるという同社製品の中から、主要機種・最新機種を展示。誰もが経験したことのあるドアノブに触れた時の静電気が、広いエリアにイオンを飛ばして空間の静電気対策ができる「空間トリック」を使用すれば簡単に解消されること、世界標準として当たり前のように使われているクリーンベンチの能力が実は低く、外側のホコリも中に入ってきてしまうという欠点があるのに対し、「エアブローデスクトップトリック」ならこうした問題を解決できることなど、実際に従来品との比較デモンストレーションで来訪者に体感できる手法を取り入れている。

実際、デモンストレーションを体験した来訪者からは、口々に「目からうろこが落ちた」との声が聞かれ



中央デモセンター



新製品や幅広い業界向けの製品を展示した中央デモセンター



中央デモセンター内に開設予定の様々な実験で“原理”体感できる「静電気博物館」

ている他、「現在世界で10万台の弊社製品が稼働しているが、この8か月間不具合が出たとの報告はゼロ」、「高電圧機器のため公称寿命は5年としているが、1つの製品を15年以上使い続けているお客様もいる」（高柳氏）など、同社製品の品質の高さ、信頼性には定評がある。この他、「中央デモセンター」の一角に、中学2年生時に学ぶ理科をベースに“原理”を体感できる「静電気博物館」（10月オープン）、「あふれる悟りで、無風除電と空間除電を説くお寺」として6、7年前から同社ホームページ上で展開してきた静電気・異物問題の駆け込み寺「十里無空寺」（トリックジ）のリアルバージョンを併設する予定。なお、「中央デモセンター」への来場には事前予約が必要で、商社・販売店は同社の営業担当者を通じて、一般の方は同社ホームページから予約申し込みができる。

また、地元地域の子供たちを対象に科学に対する興味を喚起、将来ノーベル賞を受賞できるような人材育成を目指す「TRINC 科学少年少女育成基金」の年内立ち上げも予定しているなど、ビジネス面のみならず社会貢献活動も積極的に推進していく方針だ。

さらに、来年後半には第2期工事として敷地内に平屋建ての「実験場」完成を予定。研究所と中央デモセンターの一体化及び「実験場」の開設により、社会・顧客のニーズに応える製品開発、より信頼性の高い製品開発をこれまで以上に、世界の環境改善に大きく貢献する TRINC の今後の展開が注目される。

### <問い合わせ先>

TRINC 中央デモセンター

〒432-8007

静岡県浜松市西区神原町719-1

TRINC 研究所内

TEL：053-401-1088 FAX：053-401-1089

# デモセンターネットワーク

## <国内デモセンター>

### TRINC中央デモセンター

〒 432-8007 静岡県浜松市西区神原町 719-1 (株)TRINC 研究所内

TEL : 053-401-1088 (TRINC デモセンター係) TEL : 053-482-3412 (TRINC 本社)

### 仙台デモセンター

〒 980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 2-10-14

TAKAYU パークサイドビル2F (203号室)

### 東京デモセンター

〒 101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-26 芝信神田ビル6F

### 名古屋デモセンター

〒 460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 3-8-8 山富丸の内ビル2F

### 大阪デモセンター

〒 530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2-5-4 千代田ビル西館 (7階B号室)

### 岡山デモセンター

〒 700-0826 岡山県岡山市北区磨屋町 1-6 岡山磨屋ビル9F

### 福岡デモセンター

〒 812-0088 福岡県福岡市博多区東光 2-5-14 第五平野ビル3F(302号室)

## <海外デモセンター>

- |          |                |                |
|----------|----------------|----------------|
| 1. 北アメリカ | シカゴデモセンター      | アメリカ・イリノイ      |
|          | メキシコデモセンター     | メキシコ           |
| 2. EU    | デュッセルドルフデモセンター | ドイツ・デュッセルドルフ   |
| 3. ASEAN | バンコクデモセンター     | タイ・バンコク        |
|          | インドネシアデモセンター   | インドネシア・プカシ     |
|          | マレーシアデモセンター    | マレーシア・クアラルンプール |
|          | ハノイデモセンター      | ベトナム・ハノイ       |
|          | フィリピンデモセンター    | フィリピン          |
| 4. 中国    | 上海デモセンター       | 中国・上海          |
|          | 深圳デモセンター       | 中国・深圳          |
|          | 蘇州デモセンター       | 中国・蘇州          |
| 5. 台湾    | 台北デモセンター       | 台湾・台北          |

デモセンターの所在地、来場予約はTRINCホームページ ([www.trinc.co.jp](http://www.trinc.co.jp))  
の専用ページでご確認ください。